

釧路ビアリーグ

アイスホッケー競技規則

2014年4月1日施行

2017年2月7日改訂

著作：釧路ビアリーグ審議委員会

2014年3月3日

目次

はじめに

第1章 チーム、選手および用具

100条 選手の用具

110条 ユニフォーム

第2章 ゲームオフィシャルおよびレフェリーの任務

200条 オフィシャルの任命

210条 レフェリーの用具

220条 レフェリーの権限

230条 オフィシャルの仕事と役割

第3章 競技規則

300条 試合時間

302条 試合前試合後の挨拶

304条 ホーム&ビジター

306条 アイシング・ザ・パック

308条 ペナルティ時

312条 ゴーリー不在の場合の不戦勝

314条 ゲーム最少催行選手数

320条 選手ランクに基づくプレー制限

325条 デビジョン毎の特別競技規則

330条 レギュラーリーグとプレイオフ

350条 リーグ登録者

360条 リーグ参加資格剥奪

第4章 ペナルティ

400条 マイナーペナルティ

402条 ボディチェックング

404条 メジャーおよびミスコンダクトペナルティ

406条 レフェリー判断

408条 レフェリーへの暴言

410条 1試合の反則数による試合退場

はじめに

この釧路ピアリーグ特別ルールブックは2014年3月にカナダ Burnaby8rinks で行われている社会人リーグ ASHL (Adult Safe Hockey League) の規則を参考に編集された。このルールブックにおいて不都合が認められた場合は、釧路ピアリーグ審議委員会で審議を行い改訂する。

第1章 チーム、選手および用具

100 条 選手の用具

選手が着用する用具については IIHF ルールに基づき、改造していない物を使用すること。初心者登録者はフルフェイス着用推奨

110 条 ユニフォーム

(1) チームでユニフォームが揃っている場合はそれを使用。揃いのユニフォームが無い場合はリーグオフィスよりナンバー入りビブスを借りそれを着用する。ソックスは統一していなくても可。

(2) 選手を特定する背番号をレフェリーが判別できるユニフォームであれば可。

(3) 両チームのユニフォームの色が紛らわしい場合は、レフェリーの判断でオフィシャル席からみて右側のチーム (ビジター) チームがベストを着用する。

第2章 ゲームオフィシャルおよびレフェリーの任務

200 条 オフィシャルの任命

試合はレフェリーが2名、オフィシャル2名、スーパーバイザー1名で行う。

210 条 レフェリーの用具

レフェリーは黒のズボンとレフェリージャージ、黒のヘルメットを着用しなければならない。

220 条 レフェリーの権限

(1) ゴールジャッジ不在のため、全てのゴール・ノーゴールはレフェリーの判断に委ねる。

(2) ボディチェック、プレー中の衝突、ゴリーインターフェアランスのペナルティ基準、悪意ある行為、危険な行為、暴言暴動、その他リーグの規約・活動方針に反する行動の対処については、レフェリー及びスーパーバイザーの判断で決断する。従って上記については、試合中の議論は受け付けない。後日代表者会議および審議委員会におけるルール基準についての話し合いの中で議論される。

230 条 オフィシャルの仕事と役割

オフィシャルは2名、両チームの出場選手の確認、練習パックの管理、スコアの入力、シュート数のカウント、電光掲示板の操作、音響機材の操作等を行う。

第3章 競技規則

300 条 試合時間

1 試合 15分アバウトランニングタイム×3ピリオド、練習時間3分、各ピリオドインターバル1分で行う。各ピリオドでエンドは変えない。試合進行が長時間にわたりストップする場合は、3ピリオドの残り時間で調整する。

ゴールおよびペナルティ時は電光掲示板入力の際に時計をストップさせる場合があるが入力後すぐに時計をスタートさせる。

302 条 試合前試合後

(1) 試合前は各チームの選手1名がオフィシャル席までチームリストを取りに来る。リストは当日参加選手をチェックし、選手の当日ナンバーを確認し試合開始までにオフィシャル席に提出。リスト提出が完了するまでは試合は開始しない。リスト提出後に遅れて試合に参加する選手はまずオフィシャルに当日ナンバーの報告をしてから試合に参加する。

(2) 3分間の練習後、速やかに練習パックを片付けすぐに試合開始となる。整列挨拶は行わない。試合終了後は両チーム1列に並び全員で握手を交わす。リンク貸し切り時

間の都合上レフェリーおよび各ベンチへの挨拶は行わない。

試合終了後の握手が終了次第、次の試合の練習開始となる

(3) 控え室を使用するチームは試合前オフィシャル席に鍵を取りに来る。試合後ゴミを片付けた後、鍵をオフィシャル席に戻す。控え室の使い方が悪いチームには今後控え室使用禁止などの処罰を与える。鍵を紛失した場合は弁償しなければならない。

304 条 ホーム&ビジター

ホーム及びビジターチームは釧路ビアリーグホームページの試合日程で確認する。

ホームチームのベンチはオフィシャル席から向かって左側、ビジターは右側のベンチを使用する。

306 条 アイシング・ザ・パック

アイシング・ザ・パックが成立しても両チーム自由に選手の入替えができる。

またハイブリッドアイシングは採用しない。

308 条 ペナルティ時

(1) ペナルティを受けた選手にペナルティシュートを与える。ペナルティシュートが不成功だった場合は、通常通りペナルティを犯した選手が所定の時間の退場となる。成功であった場合は、ペナルティ退場はキャンセルされる。

(2) ペナルティを犯した選手がペナルティボックスのドアの開け閉めを行う。ドアを確実に閉めきらずプレーに参加した場合はその選手にマイナーペナルティが科せられる。

312 条 ゴーリー不在の場合の不戦勝

1-0 の不戦敗となる。GK 怪我による途中退場の場合、GK の代わりにプレイヤーを出場させて続行か不戦敗かを選べる。

314 条 ゲーム最少催行選手数

(1) ゴーリー1名を含めて6名とする。試合人数が不足しそうな場合、試合前日までに依頼があればオフィスは臨時補充選手を探す努力をする。

(2) 臨時補充選手は所定の費用をオフィスに支払うことでプレー可能となる。ゴーリー

ーは費用無しで参加可能。臨時補充選手の試合における各ポイントやペナルティは記録には残らない。

320 条 選手ランクに基づくプレー制限

釧路ビアリーグ規約に定める各選手のランクにおいて、A、B、C ランクの選手のゴールについては試合が 3 得点差以上となった時点で認められない（ノーゴールとなる）。

325 条 ディビジョン毎の特別競技規則

Premium ディビジョンはビギナーが安全に楽しくアイスホッケー競技に取り組めるように、ボディチェックの他にスラップショット及びスティックを腰の高さよりも上げる行為をマイナーペナルティとして禁止する。その他のディビジョンについても、審議委員会で参加者ランクを検討の上、特別ルールを施行する場合がある。

330 条 レギュラーリーグとプレイオフ

(1) レギュラーリーグ

勝敗決定方式

第 3 ペリオド終了時勝利チームは勝点 3 点、負けたチームは 0 点

第 3 ペリオド終了時同点の場合、両チーム勝ち点 1 点

【勝点】

45 分（第 3 ペリオドまで）勝ち 3 点

45 分（第 3 ペリオドまで）引き分け 1 点

45 分（第 3 ペリオドまで）負け 0 点

レギュラーリーグ終了時、勝点が同点の場合の順位決定優先順位

1. 各チーム全試合の試合中のペナルティ数の下位
2. 当該チームの対戦成績
3. 各チーム全試合の得失点差

(2) プレイオフ

全チーム参加のトーナメント形式。

プレイオフはレギュラーリーグ 1 試合以上出場の正規登録選手のみ出場可。

試合当日参加資格チェックのために選手の ID をチェックする場合がある。

試合は各ペリオドを 15 分ランニングタイム、計 45 分で戦う。

3 ペリオド終了時で同点の場合 5 分間の V ゴール式延長戦を 3on3 で行う。

延長戦においてはインプレー中以外はチェンジ禁止。延長戦で勝敗がつかない場合は、サドンビクトリー方式によるゲームウィニングショットを行う。シューターはチェンジ制。ゴールはホーム側を使用。

尚、リンク貸切の都合上延長戦を行わずすぐにゲームウィニングショットを行う場合もある。

350 条 リーグ登録者

- (1) リーグ登録者は所定の参加費用をオフィスで支払いヘルメットステッカーを受け取る。試合中、ステッカーをヘルメットに貼っていない選手はステッカーを再購入するまでプレーができない。紛失の場合ステッカー再発行料は 300 円がかかる。
- (2) 未登録選手がプレーしていることが判明した場合、当該選手のゴールおよびその選手が関わったゴールの取消しおよび当該チームのその他の得点も 0 とし試合再開。選手は即刻退場。もしも試合終了時に判明した場合も同様に対処する。

360 条 リーグ参加資格剥奪

- (1) 当リーグの試合において、乱闘および競技以外の争い、暴言等が起こった場合には審議委員会で審議し、1 度目は警告、2 度目以降はリーグ参加資格剥奪もあり得る。
- (2) ペナルティの有無を問わず素行の悪い選手について、複数の対戦チームから指摘があった場合は、審査委員会で審議し、その指摘が正当であると認められた場合は注意・警告・資格剥奪もあり得る。
- (3) 資格剥奪となった場合でもリーグ参加費用の返金はしない。また、資格剥奪となった選手は、罰金として 30 万円をオフィスに支払わなければならない。その際、本契約に関して訴訟を提起する場合、釧路地方裁判所、または釧路簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とし、日本国法を準拠法とすることを合意する。

第 4 章 ペナルティ

400 条 マイナーペナルティ

ボディチェックを含むマイナーペナルティはランニングタイム 2 分間の退場とな

る。

402 条 ボディチェック

(1) 相手に意図的に体の接触を行った場合はボディチェックのマイナーペナルティとなる。

(2) 偶発的でも GK に接触した場合は GK インターフェアランス。

(3) 不慮の衝突についても回避可能であったかどうかを判断の基準としつつ原則としてボディチェックのペナルティとして扱われる。出場選手は周りに気を配り自らが衝突を避ける努力をしなければならない

404 条 メジャーおよびミスコンダクトペナルティ

メジャーおよびミスコンダクトペナルティについては即刻退場となる。代替りの選手がマイナーペナルティの場合は2分間、メジャーペナルティについては5分間退場となる。

406 条 レフェリー判断

IIHF ルールのペナルティ事項、及び釧路ビアリーグペナルティ事項以外であっても、レフェリーが危険なプレーと判断した場合はペナルティを科することができる。

408 条 レフェリーへの暴言

レフェリーへの暴言については即刻ゲームミスコンダクト退場となる。

代替りの選手がペナルティボックスに入る。

410 条 1 試合の反則数による試合退場

1 選手による 1 試合における複数回のペナルティについては、悪質なケースである場合はレフェリー及びスーパーバイザーの判断により残り時間退場処分(ゲームミスコンダクト)にすることができる。